

## 国立音楽大学同調会 平成 29 年度 代議員会 会議録

日 時：2017 年 8 月 1 日（火）午後 2 時 30 分より

会 場：国立音楽大学 6 号館 101 室（大講義室）

出席者：42 名（議決権者の総数：50 名、この内欠席 8 名、委任状提出 5 名）

配付物：議事次第、平成 28 年度活動報告、会計報告及び監査報告書、平成 29 年度活動計画（案）及び予算書（案）、「くにたち賞」表彰規程及び選考内規案、推薦書要領、推薦書案、同調会収支推移見込み表、評議員選出規程改定案、同調会現規約、7 号館建設事業募金案内、出席者リスト / 大学関係資料：大学案内 2018、OPEN!2017、CARILLON、演奏会スケジュール

冒頭、司会の杉江知都子総合企画部部長より、配付資料が確認され、次に本日の代議員会が成立要件を満たしていることが伝えられた。その後、議事次第に沿って進行した。

はじめに、山下洋輔会長よりご挨拶をいただいた。続いて、長尾達則理事長、武田忠善学長（ともに同調会顧問）の挨拶が続いた。

規約第 8 条 4 項により指名された議長：中村聡氏（幹事・東京同調会会長）、副議長：藤森晴子氏（幹事・栃木県同調会事務局長）による進行のもと、以下の内容が審議・報告された。

### 【審議事項】

#### 1. 平成 28 年度 活動報告 <神原雅之 幹事代表>

活動報告の内容は以下の通り。

- ① 会議報告：代議員会（2016/8/1）と役員会（全 3 回）を開催した。（日程・議題：当日配付資料参照）
- ② 同調会ニュースの発行：通巻 93 号を『くにたち音信』（7 月発行）と合併号として発行した。
- ③ ホームカミングデイの開催：参加者 221 名。合唱団「カンマーコール」、山下洋輔先生（Pf）・武田忠善先生（Cl）によるスペシャルコンサート、くにたち写真展、キャンパスツアー、懇親ティーパーティーの様子は、ホームページに写真と報告を掲載。主催：同調会、運営：学内同調会。
- ④ ホームページの更新：継続更新。ホームカミングデイ、各会主催の演奏会情報等。
- ⑤ 代議員会運営分担金の納付：45 会×@25,000 円を大学に納付した。会計報告にも明記している。
- ⑥ 大学と各同調会との共催事業：ミニコンサート&クリニック（5 会）、進学ガイダンス 14 会場。適宜協力し合った。

#### 2. 平成 28 年度 会計報告 <花輪明夫 財務部経理課課長・代議員>

当日の配付資料参照。

#### 3. 平成 28 年度 監査報告 <神宮寺淑子 会計監査人・山梨同調会会長>

代議員会当日の午前中に、同調会会計監査人の神宮寺淑子氏と駒沢とみ子氏が監査を行った。神宮寺氏より、監査の結果、収支状況が正しいことが報告された。

以上、平成 28 年度の活動報告及び会計報告について拍手で承認された。会場からは、以下の質疑応答があった。

[代議員]昨年度の代議員会の議題「平成 28 年度活動計画（案）」で、入会金徴収の再開についてホームページ上で周知を図るとなっているが、いまだに更新されていないようだが。

[答弁]ご指摘頂きありがとうございます。至急、更新いたします。

[代議員]同調会は、大学主催の進学ガイダンスに今後どのように関わっていけばいいか。今回、大学から何も連絡が無かったため、協力ができなかった。

[答弁]大学の予定や都合で、細やかにご連絡できなかったのかもしれない。各都道府県によって温度差があるのかもしれない。実際、ご協力頂いている同調会もあるので、今後は大学と調整を図っていききたい。

[代議員]進学ガイダンス参加者の名簿を開示頂くよう大学にお願いしたが、一切応じてもらえなかった。今後はどのように協力していけばいいのか。

[答弁]冒頭、理事長・学長からも、今後とも同調会の協力をお願いしたいとご挨拶で述べていただいている。今後はご案内の発送を検討頂くよう大学に伝える。

[代議員]参加者名簿は頂けるということですね？

[答弁]個人情報の提供については本人の承諾が必要になる。

[代議員]大学から進学ガイダンスのお知らせが来た場合は、協力しないわけにはいかない。同調会で集めた参加者の名簿を作成し大学へお渡しした際、次年度の参考にしたいのでコピーしたいとお願いしたが応じてもらえなかった。依頼があれば協力したいと思っているので、是非検討頂きたい。

[答弁]多くの方に進学ガイダンスのお声掛けを頂き、本当に感謝している。参加者には大学より、次回の催事の案内をお送りしている。次年度のご参考にされたいのは重々承知しているが、個人情報ということでお渡しするのは中々難しく、基本的にはご本人の承諾が必要。今後、大学で検討します。

#### 4. 平成 29 年度 活動計画案 <藤沢章彦 副会長>

活動計画案の内容は次の通り。

- ① 会議予定：代議員会（2017/8/1）と役員会
- ② 同調会ニュースの発行：通巻 94 号『くにたち音信』7 月号と合併して発行。
- ③ホームカミングデイの開催：2017 年 11 月 3 日（祝・金）第 7 回を開催予定。「スペシャルコンサート」は、合唱団「J スコラーズ」、福井敬先生の独唱を予定。「くにたち写真展」、「懇親ティーパーティー」も例年通り実施予定。但し「キャンパスツアー」は、1 号館工事のため中

止する。本行事の主催は同調会、共催は国立音大。運営は例年の通り、本学の教職員による「学内同調会」が担う。

- ④ 同調会ホームページの更新：各同調会が主催する演奏会情報などを継続更新する。
- ⑤ 奨学金の給付：第1回給付は3月頃を予定。
- ⑥ 県人会助成金の給付：第1回給付は12月頃を予定。
- ⑦ 賛助金（寄付）の募集：第1回募集は7月に実施済み。
- ⑧ 卒業記念品の製作：卒業証書入れ（「同調会」の箔押し）を製作予定。冊子「卒業おめでとう」は廃止する。
- ⑧ 代議員会運営分担金の納付：例年通り徴収し、大学に納める。平成30年度以降は徴収を廃止する。
- ⑨ 「くにたち賞」の新設：第1回表彰式は平成30年度を予定。趣旨等は配付資料参照。
- ⑩ 都道府県同調会主催演奏会への教員派遣：「コンサート&体験レッスン」を6ヶ所で開催。

以上、平成29年度の活動計画案について拍手で承認された。会場からは、以下の質疑応答があった。

[代議員] 地方の同調会主催演奏会の開催は経済的に厳しい状況である。以前、演奏会開催費用の一部を同調会から助成して頂いたように、助成してほしい。それが可能であれば、「くにたち賞」を新設してもよいと思う。「くにたち賞」の副賞の金額が高すぎるように思う。

[答弁] 各都道府県同調会の経済状況が厳しいのはよく分かる。演奏会費用を助成していた当時は在学生が約2,000人おり、収入が多く見込めていた。もし演奏会費用を助成する場合、事後に各県から収支報告を提出していただくことも必要となり、煩雑になる。今回「くにたち賞」をスタートできれば、同調会の名を広く知って頂ける機会になると思い、提案した。

[代議員] 県人会助成金は、学生が参加していれば対象となるのか？

[答弁] 元々、県人会助成金は学内同調会が始められた事業。その趣旨は地方出身学生が地元で演奏することで、若い演奏家として活躍してくれることを狙った。自発的に、地元で演奏したいという学生たちに演奏会費用の一部を助成し、各同調会との連携を支援してきたものである。現在、学内同調会が中心となって学内での周知を図っている。

[代議員] 「くにたち賞」設置の目的は大変良いと思う。但し、名誉だけで充分なのではないか。副賞分の予算を、県人会助成金などに充ててはどうか。

[代議員] 副賞の金額は検討の余地があると思う。また、表彰対象者の条件（卒業後10年未満、10年以上と区切ることは、「くにたち賞」の趣旨にそぐわないのでは。対象が在学生であってもいいのではないか。

[答弁] 同調会予算の見通し表をご覧頂きたい（配付資料参照）。今回、新たに提案した事業に掛かる費用と、今後見込める収入を比べると、差額は収入が上回る。また、受賞対象や推薦方法について、今回の案が完成版というわけではなく、スタートしてからより良い方向へ軌道修正することも可能。

[代議員]「くにたち賞」の趣旨が曖昧で、選考委員が選考するのは難しいのではないかと。推薦応募のフォーマットなど、もっとしっかりと考えるべき。

[代議員]昨年のご提案よりしっくりきた。「くにたち賞」の格を示すには、副賞の金額は妥当だと思う。

[代議員]過去、同調会に収入が無く、大学に頼っていた時期に比べると、収入が安定し、同調会の運営が可能となっているのは良いこと。お金が貯まっていくばかりというのも問題だ。使途は難しいが、「くにたち賞」という新たな事業を形にしようという取り組みは妥当だと思う。また、ある程度副賞を出さないと名誉は付かない。妥当性はわからないが、今後堅実に運用していくのであれば、賛成したい。

[代議員]今回のご提案がベストとは思えないが、スタートしない事には動き出さない。本案がベターということで、まずは始めてみてはどうか。今後、ベストな状態にしていくという共通の認識を役員の皆様を持って頂けるのであれば、賛成したい。

[代議員]各都道府県同調会の会員になっていない卒業生は推薦対象に含まれるのか。

[答弁]卒業生全員が同調会員のため、推薦対象となり、推薦する資格もある。各都道府県同調会への参加はあくまでも任意としている。

#### 5. 平成 29 年度 予算書案 <花輪明夫 財務部経理課課長・代議員>

前項の議事 4 を受け、平成 29 年度予算書案について説明された（詳細は当日配付資料参照）。

説明後、平成 29 年度予算書案について拍手で承認された。会場からは、以下の質疑応答があった。

[代議員]代議員会運営分担金について、昨年度から入会金を徴収しているのであれば、今年度より廃止してはどうか。

[答弁]大学の会計年度が 4 月 1 日～3 月 31 日という期間のため、今年度から廃止することは難しい。

[代議員]代議員会運営分担金は我々代議員の交通費であるのに、入会金から支出するということ納得できない。各県の代表として参加しているのであれば、各県から支出すべきでは。

[答弁]代議員の皆様には、同調会の運営についてご審議頂くためお集まり頂いている。同調会についてご審議頂く会の交通費を、同調会の予算から支出するのは適切と考える。

[代議員]県人会助成金は、各都道府県同調会の演奏会に給付されるのか。

[答弁]県人会助成金は、各都道府県同調会への寄付ではない。あくまでも、学生たちがイニシアティブをとって、地元の同調会からの支援・協力を頂きながら、学生達が自立していく事を支援することが目的。ただ、残念ながら積極的に地元で演奏したいと言う学生が減っている。これは、現在学内同調会が抱えている問題として、何卒ご理解頂きたい。

[代議員]「くにたち賞」の副賞金が本予算書案に計上されていないのは、募集は今年度からだが、表彰は来年度（平成 30 年度）であるから、と解釈してよろしいか。

[答弁]その通りです。

6. 学校法人国立音楽大学評議員選出規程の改定 <藤沢章彦 副会長>

同調会の規程の内、「国立音楽大学同調会が選出する学校法人国立音楽大学評議員選出規程」について、改定案が提案された。詳細は当日配付資料参照。

以上、学校法人国立音楽大学評議員選出規程の改定について拍手で承認された。

7. その他 <神原雅之 幹事代表>

2017年7月25日発行『くにたち音信』に同封した「賛助金（寄付）」のお願いと、現在取り壊し工事中の1号館の跡地に新築予定の「7号館」について、同調会から寄付をしたいという提案が説明された。

- ・「賛助金（寄付）」については、広く薄く、卒業生の皆様にご協力をお願いしたいというもの。
- ・「7号館」への寄付は、過去、新1号館建設など周年記念事業時に同調会から何かからの支援を行ってきた。そこで、今回も7号館の新築について支援したい。金額は500万円程度。この使途として、同調会主催のホームカミングデイや学生たちの集会などで使えるよう、7号館1階の食堂内に音響機器や照明等を設置するための費用に充てて頂きたいと考えている。

説明後、「7号館」への寄付について拍手で承認された。この費用については平成30年度と同調会予算に計上する。

全ての議事が終了した後、学内同調会副会長・代議員の足本憲治氏より、「ホームカミングデイ2017」のご案内があった。

以上で、代議員会は終了した。

代議員会の出席者は以下の通り（順不同、敬称略）。

山下洋輔（会長）、藤沢章彦（副会長）、長尾達則（顧問・理事長）、武田忠善（顧問・学長）、神原雅之（幹事代表・代議員）、青木つくし（幹事）、中村 聡（幹事・東京同調会）、藤森晴子（幹事）、大島恵司（幹事・岩手県同調会）、堺 洋子（幹事・石川県同調会）、駒沢とみ子（会計監査）、神宮寺淑子（会計監査・山梨同調会）、坂口 聡（北海道同調会・代理）、浅野 清（青森県同調会）、門脇磨美子（宮城県同調会）、菅野正美（福島県同調会）、鈴木恵子（群馬県同調会）、沼尾守夫（栃木県同調会）、武田 順（茨城県同調会）、井上由紀子（埼玉県同調会）、木村茂雄（神奈川同調会・代理）、石本陽子（新潟県同調会）、三上秋子（富山同調会・代理）、柴田隆一（長野県同調会）、山田 望（静岡県同調会）、葭田美香（岐阜県同調会）、守矢知世（愛知同調会）、鈴木就二（三重県同調会）、橋爪恵子（和歌山同調会）、長谷場純一（兵庫県同調会）、米井里香（大阪同調会）、平松久司（京・滋・奈良同調会）、小谷幸久（鳥取県同調会）、桑野尚文（島根同調会）、米倉由起（岡山県同調会・代理）、小田孝則（広島県同調会）、中島俊泰（山口県同調会）、塩崎百合子（香川県同調会）、島田浩世（徳島同調会）、長谷川公彦（愛媛同調会）、松尾喜一（佐賀県

同調会)、太田昭子(長崎県同調会)、高野栄次(熊本県同調会)、成松和恵(宮崎同調会)、西澤明(鹿児島県同調会)、宮里哲(沖縄県同調会)、足本憲治(代議員)、花輪明夫(代議員・経理課長)、杉江知都子(代議員・総合企画部長)、登坂江美子(大学改革推進室課長)、澤田佳奈子(事務局)、長野舞希(事務局)